

設置事例 レポート



ららガーデンつくば 様

導入の目的

建物の裏に収容数の大きな立体駐車場を設けているものの、混雑時も建物前の平面駐車場で周回する来場車が多い。
 センサの情報で平面駐車場の滞りを解消すると同時に、奥の立体駐車場へのスムーズな誘導を図る。

屋外、立体駐車場合わせて約1,100個のEP-I型超音波センサを設置。大型案内看板、車路誘導板、フロア満空板、パソコンによる分析システム等を導入。

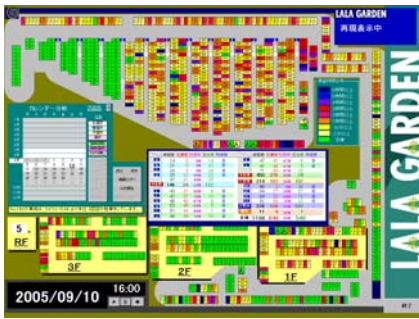
CG

誘導機器類の設計にあたってはCGを活用。表示類の見え方、建物との調和等を検証。

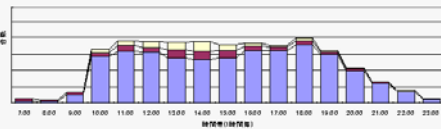


上写真) 検証に基づき、設置された大型案内看板

下写真) 屋外使用の可能な床置き式超音波センサEP-I



← カレンダー表示で過去に遡って駐車状況の再現/分析が可能。駐車時間、回転数等により色分けして表示。さらに、時間帯別の利用状況の推移をエクセルに出力し、追加分析、加工が可能。



下写真) 高輝度LEDを採用した大型表示パネル。「満」「混」「空」表示可(Exnosオリジナル)



下写真) 一列に並んだ10枚の車路誘導板
 満車ブロックは「満」、空車ブロックは「空」と「→」が同期して切り替え表示。
 1秒おきに切り替わるので、極めて視認性が高い。

